

今回の号は、先月地域の皆さんにお配りできなかった9月号を併せたものになっています。



須佐小学校
校長室だより

そがり

令和6年度9・10月

文責 井上伸治

2学期が始まり 4 週目

暑い夏がいまだに続いています。少し前に一旦秋の訪れを感じさせるようなときがあった気がします。それもいつのことだったかという有様です。これは本当に異常気象なんだと、何の疑いもなく思うところです。

小学校では、9月21日のオータムカップ（運動会）に向けた練習についてだけでなく、休憩時間等の過ごし方についても、その時々々の天候や気温、湿度、熱さ指数（WBGT）をしっかりとらえて、熱中症予防運動指針に沿って適切に判断して活動につなげているところです。

このお便りが皆様に届くころには、もう少し涼しくなっていることを期待しています。皆様におかれましても、お身体ご自愛ください。

2学期の始業式（8/28）



今年の夏は、なんと言っても「パリオリンピック・パラリンピック」と「甲子園における大社高校の活躍」だったかなと思います。そこに登場する多くの選手たちが一様に口にする言葉に「努力」という言葉がありました。1学期の始業式でも「努力」と「友達」の話をしたことが、もう少し掘り下げたいなと思い、次のよう

な話をしました。

「自分の目標に向かってしっかりがんばる」

しっかり：あきらめずに、ねばり強く

がんばる：努力すること

努力することで人は成長します。努力して1位になればそれはすごいこと、2位でも3位でもすごいことです。でも、たとえすぐに負けたとしても、努力して挑戦したことで、人は必ず成長し進歩します。努力は絶対にムダにはなりません。大きな結果はすぐには出ないかもしれませんが、ずっと努力を続ければ、いつか必ず大きな花が咲く。これはまちがいないことです。



「友だちのよいところや

がんばっているところを

たくさん見つける」

友だちのよいところを見つけた時に、どうしていますか。見つけたら、本人に伝えてあげてください。「じょうずだね」「すごいね」

「がんばったね」「かっこいいね」…と。はずかしかったら、他の人でもいいです。「〇〇さんって、すごいね」「〇〇くんって、やさしいね」そう聞いた人は、また誰かに伝えてください。そうすれば、きっと本人に伝わるはず。これが須佐小学校の中でぐるぐる回っていけば、きっとすばらしい学校になるはず。です。



会は大いに盛り上がりました。「佐田にはとてもすばらしい伝統や自然があり、それらを大切にしている人の温かさがある」「全員が考え、意見を出し合い、共有できた貴重な時間だった」「地元に住んでいると当たり前とってしまうものやことが、実はとても貴重なもので佐田の宝なのだということを再認識、これを子どもたちに伝え、教えていきたい」など、ふるさと学習を考えていくうえで、貴重なご意見・感想をたくさん寄せていただきました。

行ってきました江津研修



10月9日（水）10日（木）、県立少年自然の家において宿泊研修を行いました。自然の家が掲げる「規律、協同、奉仕、友愛」の育てたい4つの心をめざして、この2日間研修に取り組みました。はじめは5分前集合ができなかったり、安易に先生にスケジュールを尋ねてしまったりという姿が見られましたが、研修が進むにつれ、次の活動を考えた行動や発言が見られるようになってきました。さらには、お互いのがんばりを認め合い、助け合う姿がどんどん見ら

れるようになりました。5年生のみんなは、この江津研修でぐっと成長し力を付けました。今後の学校生活での活躍を期待するところです。



保幼小交流の日

出雲市では、保育・幼稚園教育から小学校教育へとつなぐ接続期において、子どもたちがスムーズに生活環境の変化に対応できるよう、翌年度に小学校へ就学する子どもを対象とした「出雲市保幼小交流の日」を開催しています。今年、10月16日（水）に実施されました。

須佐小学校では、来年4月に統合する窪田小学校と合同での開催となり、須佐保育所と窪田保育所から11名の参加がありました。新1年生の皆さんを迎えたのは、須佐・窪田両校の5年生、来年6年生となる新しいリーダーたちです。「だるまさんがころんだ」をしてみんなで遊んだり、いろんなミッションがある学校探検をしたりして、しっかり交流をすることができました。また、その様子を保護者の方にも見ていただきました。そして、須佐・窪田両校の新しいリーダーたちの交流を深めることもできました。



オータムカップ大成功！



9月21日（土）、とても天候が心配されたオータムカップ（運動会）でしたが、雨は時折ポツポツと降る程度で、熱中症の心配をすることなく全種目を行うことができました。天候が途中から崩れることも考え、プログラムの順序も変更するなど、できる限りの準備をして臨んだことも功を奏しました。そして、なんとと言っても、6年生をはじめとする子どもたちの熱意が、雨雲をギリギリのところまで食い止めてくれたように思います。どの種目においても、子どもたちの一生懸命な顔やはちきれんばかりの笑顔を見ることができ、最高のオータムカップとなりました。保護者の皆様、ご声援、そして、片付けにもたくさんご協力いただきありがとうございました。

連音練習スタート！



10月1日（火）、連音音楽会に向けた放課後練習（4年生以上）が始まりました。先月21日に運動会を終えて、まだ日が浅い中ですが、も

う次の行事に向けて動き出しています。9月から学年ごとに音楽の時間に担当楽器も決めて練習が始まっており、この日は、初めて音を合わせてみるという日でした。これまでのパートごとの練習から全員での音合わせ、合奏の全体像が見えてきて合奏の楽しさがぐんと増したのではないかと思います。そして、子どもたちのやる気もさらに増したように感じました。11月7日（木）の連音音楽会がとても楽しみです。発表するのは、合唱「小さな勇気」（梅野知子 作詞・作曲）、合奏「青と夏」（Mrs. GREEN APPLE）です。

佐田地区保小中合同地区懇談会



10月4日（金）佐田中学校体育館にて、佐田地区保小中合同地区懇談会が開催されました。この会は、「ふるさと佐田を愛し、誇りをもつとともに、すすんでふるさとに貢献する子ども」という佐田地域のめざす子ども像に向けて、佐田地域PTA連合会が主体となって開催している会です。新型コロナウイルスのためしばらく開催できませんでしたが、昨年度4年ぶりの開催となり、親学プログラム「佐田地区の子どもは、こんな子どもに育ててほしい」というテーマで、地域と家庭、学校で子育てを考える時間をもつことができました。

今年度も親学プログラムで「佐田の子どもたちに学んでほしいこと」（ふるさと学習）というテーマで行いました。50名余りの参加者があり9グループに分かれ、テーマに沿ってお互いの意見や思いを交流させました。その中から3グループが自主的に発表もしてくださり、懇談

オータムカップに向けて

「勝ち負けだけじゃない

1人1人が主役 輝けすさっ子」



これは、7月5日の代表委員会で決まったオータムカップのスローガンです。このスローガンのもと、すさっ子たちは、これまで準備を進めてきました。中でも6年生は、その中核として5年生とともに1～4年生を引っ張ってきました。

1人1人が主役ではあるのですが、やっぱり何と言っても6年生です。

はじめは緊張気味だった6年生たちも、指示を出したり説明をしたりするうちに、その声も大きくなり、指示する内容も的確になってきました。また、それに呼応するように、下級生のみんなも大きな声で返事をしたり応援歌を歌ったり、張り切ってダンスを踊ったり、こちらも調子が上がってきました。そうやって、全学年で関わり合って互いに成長していく、これが運動会の醍醐味です。

みんなが「ああ、いい運動会だったね」と振りかえられるよう、子どもたちと一緒に我々教職員もがんばります。



統合に向けての交流学習

来年度の窪田小学校との統合に向けて、学校においては、1学期から子ども同士の交流を行っています。科学館学習や社会科見学などの校外での学習、そして、地域へ出かけて行う体験活動なども一緒に行い交流を図っています。

9月3日には、両校の5年生が大社漁港に見学に出かけました。



また、窪田小の皆さんに須佐小に来てもらい一緒に教室で学習をすることで、須佐小に慣れてもらう取組も行っています。

感謝！感謝！PTA 奉仕活動

大変時が経ってしまいましたが、8月25日は、早朝からPTA奉仕活動に参加していただきありがとうございました。あまりの猛暑に茶色く枯れてかえって抜きにくくなった校庭の草の除去、重い溝蓋をめくっての溝掃除など、教職員ではなかなか手が回らないところ、お力添えをいただき、校庭が見違えるほどきれいになりました。そして、今年度もたくさん地域の方にもご参加いただきました。本当にありがとうございました。

